

<質問1>

図書館サポーターとは、具体的にどのような仕事になるのですか。

<回答1>

特に決まった仕事はありません。有志学生と職員からなるグループで、2週に1回ランチミーティングを開催し、やってみたいことを話し合ったり、雑談をしたりしています。

全新入生が参加する図書館オリエンテーションでの先輩スピーチ（普段どのように図書館を活用しているか2~3分で紹介）は、図書館からWELLに依頼をしてやってもらっていますが、イベントは概ね、ミーティングで話し合っただけで何に取り組むかを決めていません。

<質問2>

タイトルあてゲーム、本探しゲームのやり方を教えてください。

<回答2>

「タイトルあてゲーム」

企画・準備して下さったのは横浜女学院中学校高等学校図書委員の方です。ゲームを行った交流会当日の参加者は全員で12名でしたが、2名が進行役、残る10名が2チームに分かれて対抗しました。それぞれのチームにはタイトルの一部を隠した用紙が配られ、進行役から発表される2つのヒントをもとにタイトルを考え、当たった数を競うゲームでした。

「本探しゲーム」

当館で準備しました。チームに分かれて、館内を巡ってクイズを解くゲームです。最終的に13桁の数字（ISBN）が入手でき、その数字をOPACで検索するとヒットする本のタイトルを回答します。

<質問3>

協定校の決定方法、選抜基準を教えてください。

<回答3>

協定校の決定は、大学と高校との間で決めることですので、図書館では分かりかねます。また、選抜基準についても図書館では分かりかねます。

<質問4>

協定校は何校ありますか？

<回答4>

2024年12月現在、18校と高大連携協定を締結しています。

<質問5>

コロナ禍では活動が制限されたと思いますが、10年以上、どのように活動を続けてきたのでしょうか。

<回答5>

コロナ禍では対面での活動が制限されましたので、ミーティングもオンラインで行ないました。ミーティング開催日時を学内ポータルシステム等で全学生にお知らせし、参加を募っていますが、こちらは現在も継続しています。

新しいメンバーの獲得は、新入生向けの図書館オリエンテーションや初年次必修授業で流す、WELLの活動を知ってもらえるようなコンテンツ(動画やスライド)を作成しました。大学活動がオンライン中心でクラブ活動もしにくい時期でしたので、つながりを求めてか、2年生以上の新規メンバーも増えたのを記憶しています。

<質問6>

新規加入者の減少による後継者問題という課題について、大学全体を巻き込んで動かないとメンバーは増えないのではないか。広報が足りないのではないか。

<回答6>

ご指摘の通り、「広報」が足りていないことも大きな要因かと認識しております。大学全体を巻き込んでの課題解決、検討したいと思います。貴重なご示唆をありがとうございます。